卒業生へ

2020年3月10日

　卒業生諸君、この度は卒業おめでとう。スタッフ一同お祝い申し上げます。

さて、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら送別会を中止することとなりました。そこで、ホームページからとなりますがみなさんにお祝いのメッセージを送ります。

　みなさんとの思い出はとてもたくさんあります。しかし、お祝いのメッセージとしては相応しくないと思いますので、ここではいくつかの投げかけをしたいと思います。

本日、無事に本校を卒業しましたが、今の心境はどうですか？「やっと、卒業した」、「卒業して、さみしい」などと考えているのではないでしょうか。ちなみに、みなさんはどのように卒業しましたか？という問いにはどう考えるでしょう。卒業はあくまで本校を卒業したにすぎません。しかし、サッカー部としてどのように卒業したのかを考える良い機会だと思います。

３年間良く伝えていた話があります。それは、『節目』と『環境』についてです。サッカー部では、大きな目標を達成するために一つ一つの『節目』を大切にしています。卒業というのも、またひとつの『節目』でしょう。そして、みなさんはそれぞれの新しい『環境』に進んでいきます。

これから新しい『環境』の中で、新しい仲間を作り、切磋琢磨をし、自己の成長や夢に向かって進んでいかなければなりません。『環境』はいつもみなさんを成長させてくれます。しかし、『環境』に依存すれば、つまずいたときに必ず『環境』のせいにします。

今までもこれからも変わらない『環境』があります。それは家族です。例年送別会で選手たちは口をそろえて家族に感謝の意を表します。もちろん、悪いことではありません。なかなか普段言えないことだとも思いますし、口に出して相手に伝えないと意味がありませんからね。それに、感謝の言葉を聞いた家族は嬉しいですし、花束をもらえば喜んでくれると思います。しかし、本当の感謝は日ごろの行いから伝えなければあまり意味がないように思います。少なからず自分の身の回りの世話はやって当然です。その上で家族のことを真剣に考え、自分ができることを探し、それをやっていくのが、本当の感謝を伝えるということではないでしょうか。みなさんに何があってもこの『環境』は変わることはないでしょう。その『環境』に対して感謝ができないものが、これから来る新しい『環境』を大切にできるでしょうか。

どんなことがあっても挑戦したい目標、どうしても成し遂げたい自分の夢、これらばかりに目を捉われず、目の前にあるものに感謝をし、大いなる覚悟をもって挑み続けて欲しいと思います。

それが、昭和第一学園高等学校サッカー部の卒業生です。

それでは、また大きく成長したみなさんと逢える日を楽しみにしています。

昭和第一学園高等学校サッカー部

スタッフ一同